

# らぶらす防災講座 熊本に学ぶ！

## “わたしたちが主役”の避難所づくり

第1部「“主役はわたしたち” 明るく楽しい避難所づくり～益城中央小学校避難所の取組み」  
第2部「女性の視点を活かした避難所運営」

昨年4月に発生した熊本地震において、避難住民による自主運営が成功したといわれる避難所があります。第1部では、自らも被災者でありながら、率先して避難所の環境整備に取り組み、仮設住宅に移った現在も復興コミュニティづくりのために活動する講師より、避難所で実践した取組みの事例を聞きます。また、第2部では、被災時に声をあげにくい妊婦や乳幼児をもつ母親を背景として、災害時の妊産婦支援を提言する講師より、女性の視点で考える災害対策について聞きます。みんなにやさしい、安心できる避難所づくりのためにできることを一緒に考えてみませんか。

◆開催日時：**3月12日**  午後1時30分～3時30分

◆講師：吉村静代（益城だいすきプロジェクト・きままに 代表）  
吉田穂波（国立保健医療科学院 生涯健康研究部 母子保健担当 主任研究官）

◆対象：防災に関心がある方 50人

◆参加費：無料

◆保育：5か月～就学前まで（要予約）

◆会場：世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 研修室3・4

◆申し込み：2月1日（水）午前10時より、電話・FAXまたはらぶらすのホームページから電子メールで受け付けます。（先着順）

\*FAXの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号・保育の有無（保育を希望の場合は、子どもの名前と年齢）を明記してください。

\*申し込みの際にいただく住所、氏名、電話番号等の個人情報は、参加者名簿の作成、キャンセル待ち登録名簿の作成および必要な場合の連絡以外の目的に使用しません。

### 申し込み・問い合わせ先

#### 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3階

TEL 03-6450-8510 / FAX 03-6450-8511

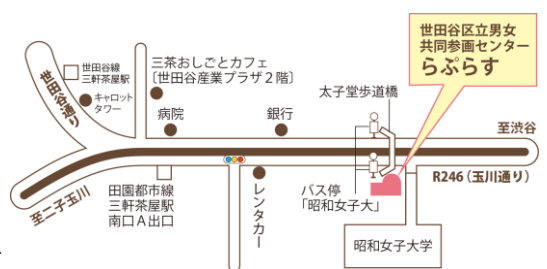
らぶらすの情報は、以下のホームページでご覧になれます。

らぶらすHP <http://www.laplace-setagaya.net>

世田谷区HP [施設](#)→[暮らし・生活関連施設](#)→[男女共同参画センターらぶらす](#)



らぶらす  
ホームページ



東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分  
東急バス・小田急バス「昭和女子大」下車  
小田急バス（駒沢陸橋～北沢タウンホール）「三軒茶屋」下車

# 講座内容

日時 3月12日(日) 午後1時30分～3時30分

会場 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 研修室3・4

	内容
第1部 (45分)	「“主役はわたしたち” 明るく楽しい避難所づくり～益城中央小学校避難所の取組み」 講師：吉村静代 ●熊本地震直後の混乱、避難所の開設 ●避難所環境改善のヒント ●避難所から仮設住宅へ、被災からの生活再建・復興
(10分)	休憩
第2部 (65分)	「女性の視点を活かした避難所運営」 講師：吉田穂波 ●なぜ避難所運営に「女性の視点」が必要なのか ●避難所運営に女性の視点を取り入れるためには 「フリーディスカッション、Q&A」

# 講師紹介



## 吉村静代

益城だいすきプロジェクト・きままに 代表

1992年に「地域づくりボランティア団体・益城まちおこし塾」、1994年に「益城町ボランティア連絡協議会」、1997年に「防災ボランティアましき」を結成。

2016年4月に発生した熊本地震の際には、指定避難所である益城中央小学校体育館で、「主役はわたしたち～明るく楽しい避難所 きままに～」をモットーに、自主運営に向けて活動開始。被災者自身が快適になれるアイデアをいかした運営で、避難所のモデルケースを目指す取り組みを実施。

現在も、地域の復興のために活動中。



## 吉田穂波

国立保健医療科学院 生涯健康研究部 母子保健担当 主任研究官

三重大学医学部卒業後、聖路加国際病院産婦人科で研修医修了後 2004年名古屋大学大学院にて博士号取得。ドイツ、英国、日本での医療機関勤務などを経て、2010年ハーバード公衆衛生大学院卒業。帰国後、東日本大震災では産婦人科医として妊産婦と乳幼児のケアを支援する活動に従事した。その後、全国各地で災害時母子救護事業や研修を立ち上げ普及啓発に努める。2013年より世田谷区でも災害時母子救護ネットワーク連携構築の取り組みを支援。

世田谷区防災会議女性の視点部会委員。5児の母。



©富本真之

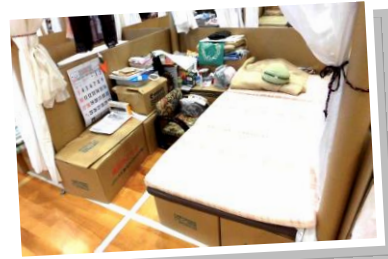
益城中央小学校避難所の様子（益城だいすきプロジェクト・きままに facebook より）



コミュニティカフェきままに



子どもたちの学習ルーム



体調に合わせて1人部屋も